

平成21年6月3日

報道関係者各位

株式会社 共立総合研究所

2009年度「新入社員の意識調査(職業観)」

株式会社 共立総合研究所（大垣市郭町2-25 取締役社長 牧野司郎）は、標題の調査結果を取りまとめましたのでご紹介致します。

《要約》

職業観について

- 就職先の選択基準 「雰囲気・イメージ」を重視する傾向がさらに強まる！
- 将来就きたい地位 男性は「管理職志向」がトップ、「独立志向」は過去最低の水準！
女性は「スペシャリスト志向」
- 先輩・上司との人間関係 「義理を欠かない程度」が5年連続トップ
- 入社の際の不安 「業界知識」と「上司・先輩との人間関係」が2大不安
- 初給与の使い道 「家族に感謝」、「預金をする」が多数

発表場所：名古屋金融記者クラブ、資料配布：大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：共立総合研究所 調査部 羽田 はだ TEL 0584-74-2615】

調査概要

当社では、大垣共立銀行が行っているお取引先企業の新入社員に対する研修会において、意識調査を行っている。14回目となった今年の調査でも、例年と同じく「就職する際の選択基準」や「将来就きたい地位」等の質問を行った。

(1) 調査対象：岐阜・愛知・三重・滋賀県所在の企業 278 社の新入社員

(2) 調査内容：2009 年 3 月 18 日～4 月 7 日

(3) 調査方法：大垣共立銀行主催の新入社員研修会受講者(1,431名)に無記名方式で実施

(4) 回答者数: 1,391 人 (有効回答率 97.2%)

(5) 回答者属性：

		全体	男性	女性
有効回答者数		1,391名	704名	687名
平均年齢		21.3歳	21.6歳	21.0歳
最終学歴	高校卒業	31.7%	29.7%	33.8%
	専門学校卒業	11.2%	10.6%	11.7%
	短期大学卒業	7.2%	1.7%	12.9%
	4年制大学卒業	47.7%	55.1%	40.1%
	その他	2.2%	2.9%	1.5%
居住地	岐阜県	54.7%	53.1%	56.3%
	愛知県	33.2%	32.5%	33.9%
	三重県	2.2%	2.5%	1.9%
	滋賀県	2.3%	2.0%	2.5%
	その他	7.6%	9.9%	5.4%
業種	建設業	9.7%	11.8%	7.5%
	製造業	40.1%	47.6%	32.4%
	卸売業, 小売業	15.2%	11.0%	19.5%
	サービス業	9.7%	7.4%	12.1%
	その他	25.3%	22.2%	28.5%

「職業観について」

(1) 就職先の選択基準 ~「雰囲気・イメージ」を重視する傾向がさらに強まる!

「入社を決めるにあたって何を重視しましたか(3つまで選択)」と尋ねたところ、全体の1位は「業種・事業内容」(回答率62.5%)、2位は「雰囲気・イメージ」(同49.4%)、3位は「通勤時間」(同32.7%)となった(図表1)。ここ数年の傾向として、「雰囲気・イメージ」を重視する若者が増えてきていることがさらに鮮明となった。

また、男性は依然として「業種・事業内容」がトップであるが、昨年と比べると回答率は若干低下している。これに対して、「会社の安定性」、「休日・勤務時間」が過去最高となった。「業種・事業内容」だけではなく、会社の安定度やプライベートの充実度が、企業を選択する観点として強まっていることがうかがえる。

図表1：就職先の選択基準

(単位：%)

	1996 年度	1997 年度	1998 年度	1999 年度	2000 年度	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009年度	男性	女性
	1996 年度	1997 年度	1998 年度	1999 年度	2000 年度	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009年度	男性	女性
業種・事業内容	46.9	52.8	55.7	60.8	61.3	61.2	61.5	63.8	63.8	64.1	64.5	61.9	65.1	62.5 (▲2.6)	64.3 (▲4.0)	60.6 (▲0.6)
雰囲気・イメージ	29.6	33.2	33.3	28.7	27.3	31.7	35.0	32.8	36.6	39.7	40.2	46.0	48.0	49.4 (1.4)	45.3 (0.0)	53.5 (2.6)
通勤時間	34.2	31.5	38.2	40.3	38.8	35.6	35.8	36.4	36.1	37.0	34.3	33.8	34.1	32.7 (▲1.4)	26.4 (▲1.5)	39.3 (▲1.7)
会社の安定性	23.5	19.3	20.3	20.1	21.9	21.3	23.7	23.6	20.2	22.6	21.0	24.7	25.5	25.8 (0.3)	31.1 (2.7)	20.3 (▲2.0)
休日・勤務時間	22.1	20.2	19.6	21.7	19.0	21.0	20.1	21.0	20.4	19.9	23.8	23.3	22.4	24.3 (1.9)	21.2 (4.0)	27.5 (▲0.5)
会社の将来性	20.4	22.2	19.4	18.3	22.1	20.7	23.1	19.4	19.7	20.9	19.6	19.9	20.1	18.5 (▲1.6)	23.3 (▲2.6)	13.5 (▲0.1)
親または学校の推薦	24.4	24.3	25.3	20.3	21.0	22.1	19.6	20.0	17.7	16.5	17.6	16.4	15.0	12.8 (▲2.2)	12.2 (▲2.9)	13.4 (▲1.5)
給与・ボーナス	15.3	12.5	11.0	9.4	9.5	11.7	11.3	13.9	14.4	10.7	11.8	12.3	12.8	12.1 (▲0.7)	12.8 (▲2.3)	11.3 (▲1.7)
会社の規模	6.8	7.7	6.4	6.7	7.5	6.8	5.9	7.1	7.3	7.1	8.2	9.5	8.2	7.1 (▲1.1)	9.4 (▲0.8)	4.9 (▲0.9)
福利厚生	1.9	1.6	0.6	2.2	1.5	2.1	3.9	2.5	3.6	3.2	3.3	4.4	4.6	5.7 (1.1)	5.1 (0.1)	6.3 (2.1)
他に就職内定先がなかった人	12.5	8.6	9.5	11.1	8.6	7.8	7.1	4.8	6.5	5.0	4.8	4.0	3.3	4.5 (1.2)	5.1 (2.6)	4.0 (▲0.2)
何となく	8.2	8.5	8.8	9.6	7.5	7.0	5.5	5.5	4.4	5.3	4.5	3.9	2.3	3.4 (1.1)	3.8 (2.2)	2.9 (▲0.2)
会社の知名度	3.6	3.7	2.8	2.2	3.3	3.2	2.3	2.3	2.5	3.2	3.9	3.6	3.8	2.5 (▲1.3)	3.1 (▲1.1)	1.9 (▲1.5)
アルバイト先だった	1.0	0.8	2.5	0.7	1.8	1.8	2.3	1.4	1.8	2.6	1.5	1.6	1.0	1.1 (0.1)	1.1 (0.3)	1.0 (▲0.3)
その他	3.8	3.6	3.2	3.7	3.6	3.3	4.2	4.7	4.5	2.6	3.0	3.9	3.4	4.0 (0.6)	3.6 (0.1)	4.4 (1.2)

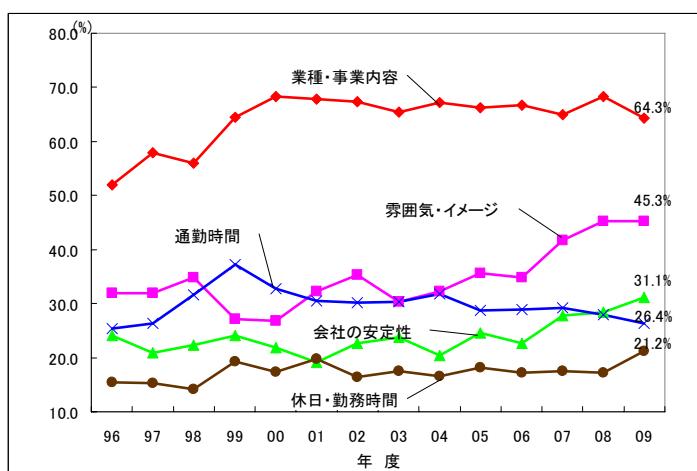
(注1) 網掛けは、各年度において回答率が高かつた上位3項目。

(注2) 括弧内の数字は昨年度の回答率との差。

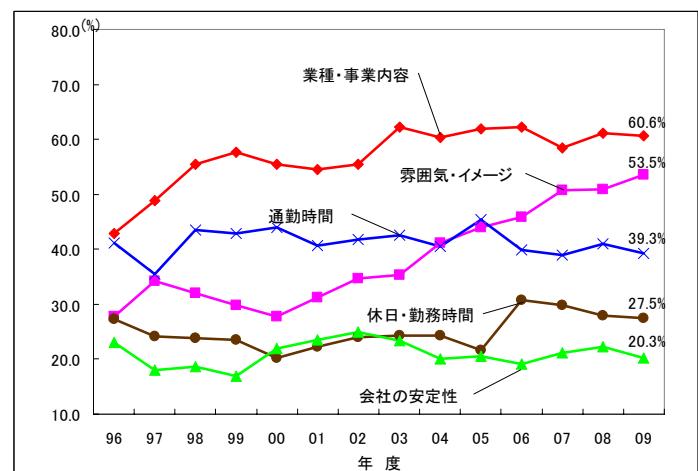
(注3) 複数回答のため、回答率の合計は100%を超える。

図表2：就職先の選択基準（全体での上位5項目の男女別推移）

(男 性)



(女 性)



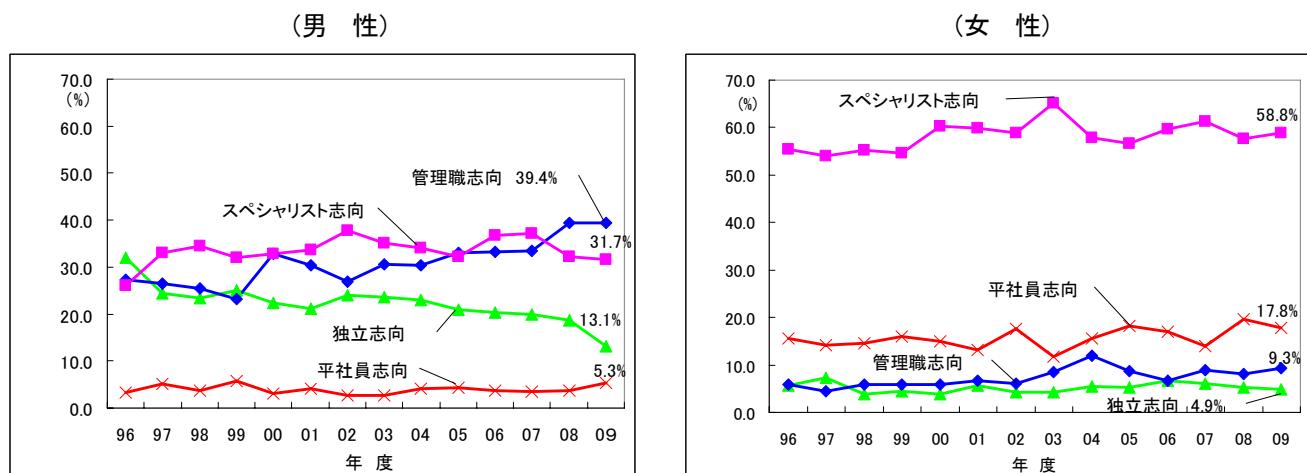
(2) 将来就きたい地位

～ 男性「管理職志向」、女性「スペシャリスト志向」がトップ～

「あなたは将来どんな地位に就きたいですか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、全体では「肩書きはなくとも、特殊能力・技能のある社員（以下：スペシャリスト志向）」（回答率 45.0%）がトップとなつた。

男女別にみると、男性は「肩書きのある社員（以下：管理職志向）」が、昨年に引き続きトップとなつた。また「独立志向」が過去最低の水準となつた。経済情勢が悪化する中で、男性は「独立」といった形で独自に活躍の場を求めるのではなく、安定した企業の中で活躍の場を求める傾向にあると考えられる。一方、女性は調査開始以来、一貫して「スペシャリスト志向」が強い（図表3）。

図表3：将来就きたい地位（男女別推移）



(3) 先輩・上司との人間関係

～ 「義理を欠かない程度」が5年連続トップ～

「上司・先輩との人間関係をどのように考えていますか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、全体では「義理を欠かない程度」（回答率 47.3%）がトップとなつた（図表4）。

男女別にみると、男性は「公私にわたくちで積極的に付き合いたい」が、昨年に引き続きトップとなつた。「管理職志向」が強くなり、企業内での活躍の場を求める傾向にある男性は、企業内で積極的に人間関係を構築していくことがうかがえる。

図表4：先輩・上司との人間関係

（単位：%）

	1996 年 度	1997 年 度	1998 年 度	1999 年 度	2000 年 度	2001 年 度	2002 年 度	2003 年 度	2004 年 度	2005 年 度	2006 年 度	2007 年 度	2008 年 度	2009 年 度	2009 年 度	
															男性	女性
義理を欠かない程度に付き合いたい	37.8	41.6	43.9	45.3	43.6	43.0	42.5	43.2	44.3	47.5	47.9	47.2	48.9	47.3 (▲1.6)	44.5 (▲0.9)	50.1 (▲2.7)
公私にわたくちで積極的に付き合いたい	44.2	36.4	35.8	34.6	40.7	40.3	44.4	44.9	44.7	40.0	42.7	43.9	43.5	44.0 (0.5)	47.7 (▲0.6)	40.2 (2.0)
仕事以外はなるべく付き合いたくない	6.0	6.1	5.8	6.2	5.6	3.7	4.2	4.3	3.3	4.1	4.0	4.0	3.7	4.1 (0.4)	4.3 (1.5)	3.9 (▲0.9)
わからない	11.1	14.8	13.2	12.1	9.5	12.0	8.4	6.6	6.8	8.0	5.2	4.8	3.5	4.0 (0.5)	3.1 (▲0.1)	5.0 (1.1)
その他	0.9	1.1	1.3	1.8	0.6	0.9	0.5	0.9	0.9	0.3	0.3	0.2	0.3	0.6 (0.3)	0.4 (0.0)	0.8 (0.5)

（注1）網掛けは、各年度において最も回答率が高かつた項目。

（注2）括弧内の数値は昨年度の回答率との差。

(4) 入社の際の不安 ~「業界知識」と「上司・先輩との人間関係」が2大不安~

「入社にあたって不安に思うことは何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、全体では「業界知識・業務内容」(回答率 59.9%) がトップとなり、次いで「上司・先輩との人間関係」(同 56.1%) となつた(図表 5)。また、「社会人としてのマナー」、「社会常識」が過去最高となり、上記の 2 大不安に加え、徐々に新入社員の不安要素になりつつある。

図表 5：入社の際の不安

	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	男性	女性		
業界知識・業務内容	51.6	53.7	50.7	58.1	58.3	62.1	61.0	62.6	59.7	59.6	60.4	58.9	58.8	59.9	(1.1)	61.8	(4.1)	57.9 (▲1.4)
上司・先輩との人間関係	67.5	69.9	62.3	60.5	60.4	57.2	59.5	60.3	61.5	58.0	58.2	59.8	60.7	56.1	(▲4.6)	52.2	(▲5.1)	60.1 (▲3.6)
社会人としてのマナー	38.8	37.3	35.3	29.6	33.7	33.5	33.9	32.0	35.9	39.1	36.7	39.9	41.0	42.4	(1.4)	43.2	(1.7)	41.6 (1.7)
社会常識	26.8	31.3	27.1	27.9	25.3	26.7	27.1	27.3	27.1	31.0	28.5	30.8	31.3	33.4	(2.1)	33.5	(▲1.5)	33.3 (6.3)
電話の応対	25.4	24.3	23.7	19.5	20.1	22.5	22.1	22.3	25.9	28.4	29.3	28.4	29.1	26.4	(▲2.7)	21.0	(▲0.7)	32.0 (▲5.0)
規則的な生活	13.7	17.4	14.5	14.4	16.0	16.6	14.6	16.7	13.8	13.2	13.5	13.2	15.5	12.0	(▲3.5)	12.8	(▲5.1)	11.1 (▲1.6)
同僚との人間関係	16.6	15.0	20.0	13.8	13.8	13.6	12.2	11.8	11.5	12.8	15.2	12.3	13.8	13.4	(▲0.4)	12.1	(0.0)	14.8 (▲0.7)
機械の使い方	-	-	11.6	12.8	11.9	12.3	15.1	12.2	13.2	12.5	14.1	15.5	13.6	14.5	(0.9)	19.8	(1.9)	8.9 (0.3)
健康	-	-	10.5	15.5	15.1	17.8	17.2	17.8	13.7	11.9	11.2	12.8	10.5	12.0	(1.5)	12.9	(2.4)	11.0 (0.7)
OA機器の使い方	9.3	11.0	7.7	10.0	9.5	7.6	7.4	5.4	5.9	5.1	5.6	5.9	4.0	3.8	(▲0.2)	3.6	(0.6)	4.0 (▲1.0)
その他	2.9	2.4	2.3	2.7	2.3	2.0	1.9	2.2	2.6	1.6	1.7	1.3	1.4	1.4	(0.1)	1.7	(0.0)	1.0 (0.3)

(注1) 網掛けは、各年度において回答率が最も高かった項目。

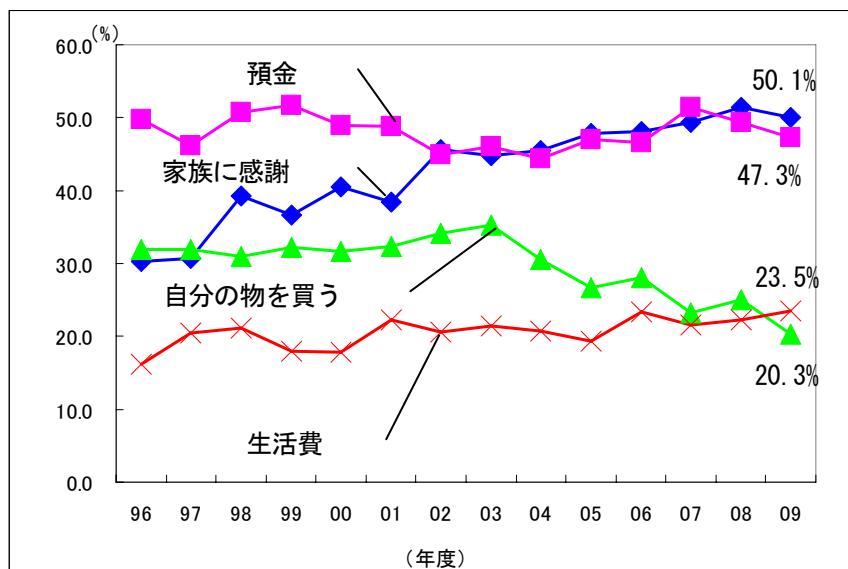
(注2) 括弧内の数値は昨年度の回答率との差。

(注3) 複数回答のため、回答率の合計は100%を超える。

(5) 初給与の使い道～「家族に感謝」、「預金をする」といった堅実派が多数～

「初任給をどのように使いますか(2つまで選択)」と尋ねたところ、全体の1位は「家族に贈り物をしたり、食事をごちそうする」(回答率 50.1%)、2 位は「預金する」(同 47.3%) となつた(図表 6)。

図表 6：初給与の使い道(全体)



(6) 小括

今回の調査では、全体的にはここ数年と同じように「堅実で、自分自身に合った働き方」を求めるという新入社員像が浮かび上がつた。昨今の経済不況及び先行きの不透明さが反映したのか、男性が安定した企業を求め、その企業内で自分自身の活躍の場を求める傾向が若干強まっていることがうかがえる。

以上